

# 姫路市国民健康保険課における 特定健診の取組みについて

令和6年1月24日

姫路市国民健康保険課 高本祐子

# 姫路市について



- 人口 約52万2千人
- 高齢化率 27.2%
- 平成8年 中核市
- 平成18年 家島、夢前、香寺、安富の4町と合併
- 兵庫県の南西部、瀬戸内海に面した都市
- 特産品 日本酒、たけのこ、れんこん、くぎ煮、バチ汁、坊勢鯖
- 姫路城、書写山圓教寺、灘のけんか祭り、姫路城マラソン



## 姫路市国民健康保険の状況（令和4年度）

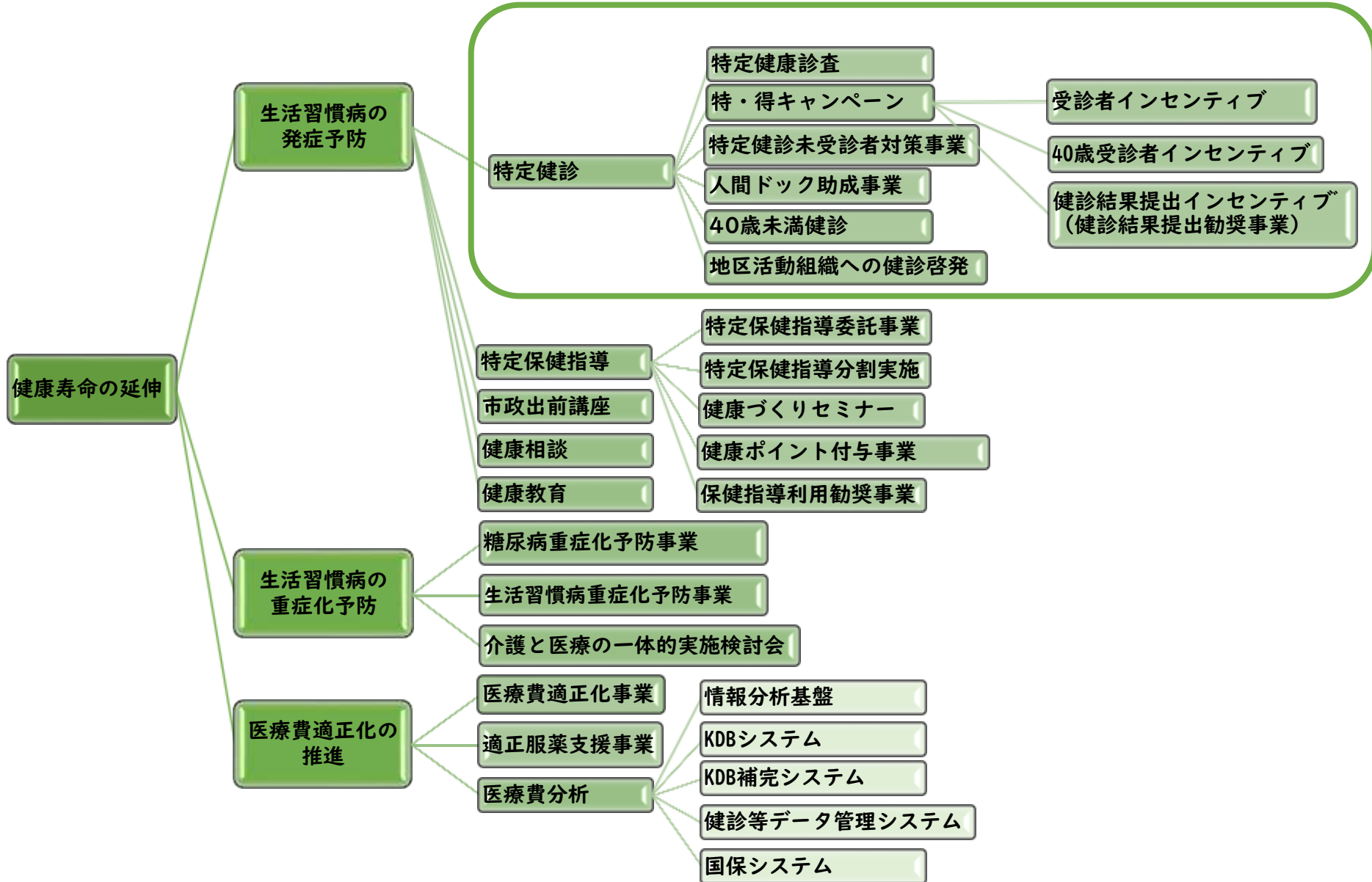
- 被保険者 100,356人
- 加入状況 19.0%
- 65歳以上加入者が43.1%
- 特定健診担当の他、管理担当、資格賦課担当、収納担当、給付担当、年金窓口センターの全6担当

## 現状・課題（データヘルス計画案より）

- ▶ 平均寿命・健康寿命は、男女ともに県と比較して短い
- ▶ 生活習慣病の重篤な疾患を死因別で見ると、虚血性心疾患、腎不全の割合などが県・国より高い
- ▶ 生活習慣病の疾病別医療費は、「がん」「筋・骨格」「精神」「糖尿病」「高血圧」の順に高い
- ▶ 一人あたり医療費は397,897円（令和4年度）で年々増加している
- ▶ メタボリックシンドローム該当者の割合は、増加しており、県・国と比べて高い
- ▶ HbA 1cの有所見者が77.5%と県・国と比べて極端に高い
- ▶ 特定健診受診者の血圧、血糖、脂質での服薬者割合は、県・国と比べて高い
- ▶ 特定保健指導利用率が低い
- ▶ 特定健診受診者のうち、生活改善意欲がない者の割合が県・国と比べて高い

# 姫路市国保

## 目指す姿と保健事業



# 姫路市国保 特定健康診査事業

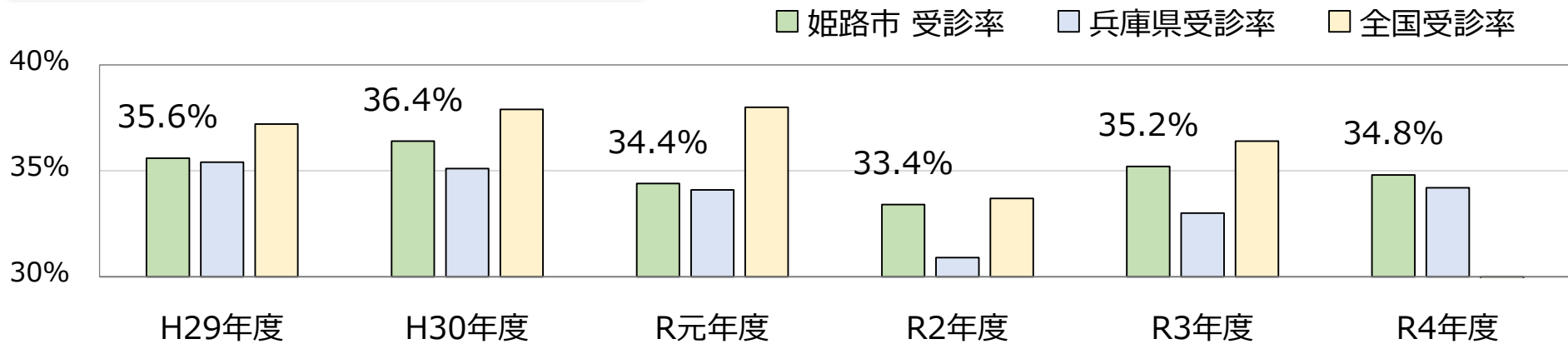


## 実施状況

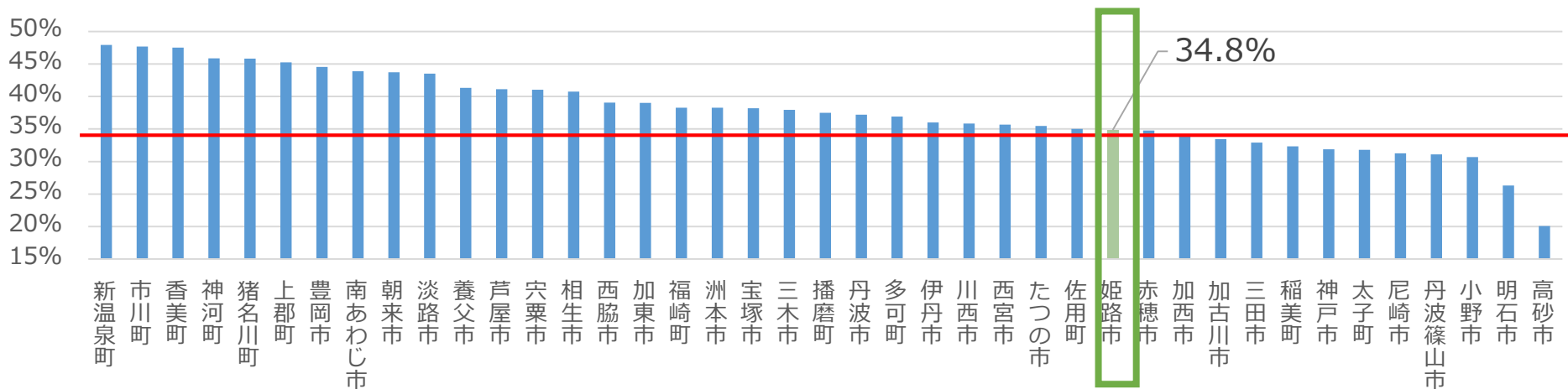
実施開始年度	平成20年度～
実施形態	市内実施医療機関での <b>個別方式</b> が基本。実施医療機関が結果説明まで実施。 集団健診はがん検診と同日実施（R4：34回 1,004人）
対象者	姫路市国民健康保険加入の40～74歳（R4法定報告：67,873人） 4月1日時点で被保険者には5月に受診券送付 途中加入者には、前の保険者が実施していない場合のみ申請により受診券送付
実施内容	基本項目＋市負担項目（血清クレアチニン、尿酸、HbA1c）＋必要者の詳細項目
対象者の費用負担	無料
健診期間	受診券到着後から当該年度3月31日まで
実施医療機関数	215施設（R5）
受診率	34.8%（R4法定報告）

# 姫路市国保 特定健康診査事業

## 年度別受診率推移



## 令和4年度市町村別受診率



# 姫路市国保 特定健康診査受診勧奨事業

## 実施状況 その1



対策	方法	内容
受診勧奨はがき	未受診者に年1回圧着はがきを送付 (R5 10月発送約50,000通)	兵庫県モデル事業利用。ナッジ理論を用いて未受診者の階層化結果から対象者にあつた内容を送付
若年層向け健診勧奨通知	1) 次年度40歳になる被保険者へ年度末に圧着はがきを送付 2) 今年度35歳の被保険者へパンフレットを送付	1) 健診やインセンティブの説明と受診勧奨 2) 健康づくりのための啓発
受診勧奨電話	未受診者に11~1月に実施 (隔年受診者や年度末年齢40歳を中心に約10,000人に架電)	兵庫県モデル事業利用。健診制度の説明や受診勧奨、健康相談を実施。
健康年齢通知	11月末までに特定健診を受診した者全員に3月末に送付	健診結果から健康年齢を圧着はがきで送付

# 姫路市国保

# 特定健康診査受診勧奨事業

## 実施状況

## その2



対策	方法	内容
医療費通知等課内送付物を利用した通知啓発	<p>医療費通知の情報提供欄に健診啓発を掲載（5・7・9・11・2・3月）</p> <p>国保パンフレット・証送付時同封パンフレットへの健診啓発掲載</p>	<p>健康コラム、受診勧奨、受診券再発行申込書等を調整の上で決定し送付</p> <p>医療費通知に再発行申請書を兼ねた記事も掲載（年2回程度）</p> <p>課内作成パンフレット類に特定健診についての説明を記載</p>
健診結果提供用封筒の郵送	前年度健診結果提供者へ結果送付用封筒を郵送（6月）	結果提出方法、インセンティブ等を送付し提出勧奨
ポスター掲示・チラシ配布	健診実施医療機関・市出先機関等に掲示・配布依頼（5月）	キャンペーン、人間ドック、保健指導について





# 姫路市国保

# 特定健康診査受診勧奨事業

## 実施状況

## その3

対策	方法	内容
<b>広報ひめじ</b>	市広報誌に健診の記事を掲載 (6・8・9・11・12・2月)	6月号では庁内健康づくり関係部署と連携し検(健)診制度の説明を掲載。キャンペーン、人間ドック、結果提出健診期間案内等掲載時期に合わせて内容変更
<b>庁内モニターの活用</b>	健診啓発(5~翌年3月)の内容を庁内設置のモニターに1か月単位で掲示	受診券送付、キャンペーン、人間ドック、結果提出、健診期間案内等掲載時期に合わせて内容変更
<b>ショッピングモール内デジタルサイネージ</b>	駅前ニュースビジョン、姫路リバーシティ、大津イオンに依頼し(設置場所により1~2か月単位)で掲示	受診券送付、キャンペーン、人間ドック、結果提出、健診期間案内等掲載時期に合わせて内容変更

# 姫路市国保

# 特定健康診査受診勧奨事業

## 実施状況

## その4


対策	方法	内容
<b>保健所への情報提供・協力依頼</b>	庁内情報分析基盤を利用して、前年度の特定健診の結果から、健康づくり関係部署に情報提供し地区担当保健師等に健康教育等に活用依頼	校区毎の健診受診率・メタボ該当率・有所見者状況等の分析結果を共有
<b>ひとり親家庭応援ハンドブック</b>	こども支援課作成パンフレットに健診案内を掲載	ひとり親家庭に国保加入者が多いため健診説明等を掲載
<b>市政出前講座</b>	市民活動推進課がすすめる市政出前講座。希望する市民グループへ健康教育を実施。	健診啓発と活用方法、姫路市国保の特定健診受診者の状況などを啓発。健診啓発、メタボについては国保課が実施フレイル、糖尿病、歯科、食育等については保健所及び保健センターが実施

# 姫路市国保

# 特定健康診査受診勧奨事業

## 実施状況

## その5

対策	方法	内容
<p><b>人間ドック助成事業</b></p>	<p>特定健診対象者が指定医療機関へ申込み、ドック当日に受診券と保険証を持参して検査実施。被保険者は当日に合計金額から補助額を差し引いた額を支払う。補助額分は国保課から医療機関へ支払う。医療機関は国保課へ実施者の特定健診部分の結果を提出</p>	<p>指定医療機関：市内15施設（R4）            利用期間：受診券到着後から年度末までの被保険者期間            補助額：6,000円            利用者数：759人（R4）</p>  <p>一度行ってみようかな、人間ドック</p> <p>6,000円補助</p> <p>40〜74歳</p> <p>お問合健康センター</p>

# 姫路市国保

# 特定健康診査受診勧奨事業

## 実施状況

## その6



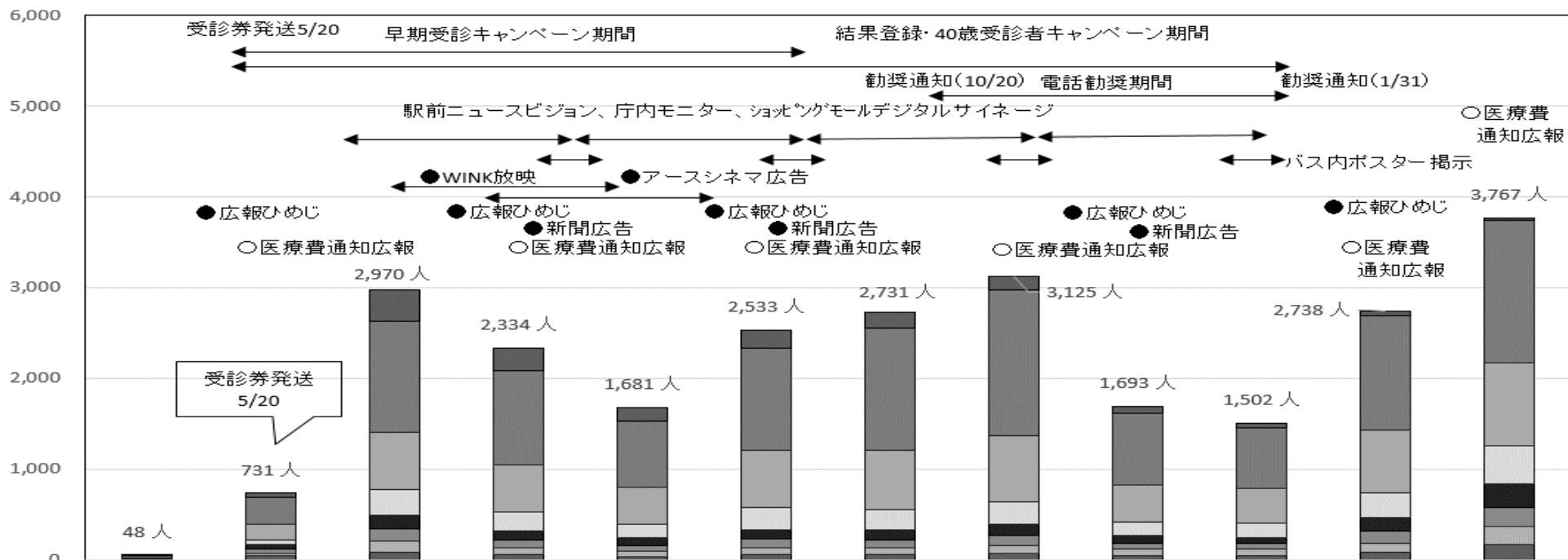
対策	方法	内容
<p><b>健診受診者等へのインセンティブ事業</b></p>	<p>健診受診者や特定健診以外の健診結果提出者に対してQUOカード1,000円分を進呈</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 1月末までの40歳の新規受診者全員</li> <li>2) 特定健診以外の健診結果を登録できた者全員</li> <li>3) 9月末までの健診受診者の中から抽選で1,000人</li> </ol>
<p><b>地区活動組織への健診啓発</b></p>	<p>民生・児童委員、食生活改善推進員の総会、研修会で健診制度説明と受診勧奨を行い、地域での普及を依頼</p>	<p>キャンペーンの周知、健診受診者の地区別状況などの資料を配布し説明。地域での活動時に活用してもらう</p>

# 姫路市国保

# 特定健康診査事業

令和4年度  
受診率**34.8%**

## 月別・年齢別受診者状況と受診勧奨実施状況（令和4年度）



75歳	3	46	337	256	151	206	181	155	80	47	47	22
70-74歳	22	296	1232	1039	729	1125	1346	1604	788	672	1262	1573
65-69歳	13	171	630	516	411	621	653	725	405	383	697	923
60-64歳	4	56	284	207	146	247	225	248	148	155	272	409
55-59歳	2	45	147	102	90	105	104	129	90	64	150	260
50-54歳	1	46	138	87	59	95	91	109	61	61	132	220
45-49歳	2	31	125	67	60	83	81	90	75	71	102	197
40-44歳	1	40	77	60	35	51	50	65	46	49	76	163
総計	48	731	2970	2334	1681	2533	2731	3125	1693	1502	2738	3767

## 姫路市国保

## 今後の国保保健事業の課題

- ▶ 特定健康診査受診率の向上
- ▶ 特定保健指導利用率の向上
- ▶ 一人あたり医療費の抑制のため、医療費適正化事業の拡充
- ▶ 重症化予防のための医療機関との連携強化

ご清聴ありがとうございました  
まだまだやるべき課題が  
山積みです  
成功事例をご教示ください

